

床面清拭

接触感染と飛沫感染により…といわれる新型コロナウイルスの感染経路。接触感染は、“ウイルスや菌に直接触って…”ということなので分かり易いのですが、飛沫感染というのが不明瞭です。咳やくしゃみで飛び散ったしぶき(飛沫)を吸い込むことにより感染する。この小さな飛沫は最大でも2mの飛距離を以って落下します。「その落下した飛沫はどうなる？」という疑問。

落下した飛沫に含まれるウイルスは、落下後も生き永らえ、湿気を失い乾燥した後に風などで再び舞い上がるようです。「飛沫として飛行しているウイルス」「ドアノブなどヒトが触れ易い処に付着しているウイルス」「落下して堆積するウイルス+再飛散ウイルス」。私たちは、前二者に比べて「落下して堆積するウイルス+再飛散ウイルス」への備えを疎かにしていないでしょうか？大ききこそウイルスとは異なりますが、家中でも埃の多くは床やその隅に溜まることを私たちは経験的に知っています。

多くのヒトが集まる場所ではウイルスが持ち込まれる確率も高くなります。“密”を避けることが大切であることはもとよりですが、持ち込まれたウイルスを除去することこそが最も大切です。持ち込まれたウイルスの相当割合が「落下して堆積するウイルス」でしょう。“2m”などのソーシャルディスタンスはウイルスが其処に存在するという前提での対策です。

床面などに落下したウイルスをその後の再飛散を防ぐためにも堆積させない対策を積極的に行うことで、館内のウイルス量自体を低減若しくは無くせると考えています。

アクラブは、通常行うべき館内の清掃除菌などにプラスして

- (1) 観覧席や更衣室、及びホールや受付周辺の床面の塩素剤による清拭を積極的に行います。
- (2) プールサイドの“水撒き”を今まで以上に積極的に行い、プール室内ウイルスを洗い流します。